

入院加療における不眠症治療薬常用化因子の検討

この文書は、大分岡病院 薬剤部が実施する研究「入院加療における不眠症治療薬常用化因子の検討」の情報公開を行うものです。この研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 入院加療における不眠症治療薬常用化因子の検討

[研究機関] 大分岡病院 薬剤部

[研究責任者] 川井 千帆（薬剤師）

[研究の目的] 不眠症治療薬（睡眠薬）が常用化する要因を特定することで睡眠薬の適正使用に貢献することを目的として行います。

[研究の方法] 通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

1、対象となる患者さん

2024年4月1日～2024年9月30日までに、入院中に睡眠薬が初めて処方された患者さん

2、予定対象症例数 250例

3、調査項目

退院時の不眠症治療薬の継続の有無、年齢、性別、BMI、喫煙歴、飲酒歴、診療科、主傷病名、入院期間、退院時の部屋（個室の有無）、精神疾患の既往、手術の有無、要介護度、退院先、処方薬（処方日、薬剤名、投与量、投与日数、用法）

4、調査実施期間 2025年1月15日～2025年3月31日

[試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法]

他の機関への試料・情報の提供はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、カルテ番号など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、新たに符号をつける匿名化を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[患者さんの費用負担について]

本研究を実施するにあたって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性がありますが、万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

[利益相反について]

この研究は特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。



[研究に不同意の患者さんへ]

この研究に同意されない患者さんは、下記までご連絡下さい。

調査対象から外させていただきます。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げるとはいたしません。

[問い合わせ先]

大分県大分市西鶴崎 3-7-11

大分岡病院 薬剤部 川井 千帆

電話 097-522-3131 (病院代表) 平日：午前9時～午後5時